サポート情報記事

# Microsoft Graph のアクセス許可 Files.ReadWrite.AppFolder: Password Vault に必要な理由と承認方法

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次


概要 4

**Password Vault** にこのアクセス許可が必要な理由 4

このアクセス許可で許可されることと許可されないこと 4

アクセス許可を承認する方法 5

アクセス許可が承認されるまでユーザーに表示される内容 6

関連記事 6

# 概要

Password Vault は、各ユーザーの保管庫を、そのユーザーの OneDrive のアプリ フォルダーにあるファイルに保管します。このファイルを読み書きするために、ソリューション パッケージは Microsoft Graph のアクセス許可をちょうど 1 つだけ要求します。それが **Files.ReadWrite.AppFolder** です。パッケージの展開後、テナント管理者がこれを一度承認する必要があります。承認されるまで、Web パーツは保管庫を開くことも作成することもできません。この記事では、このアクセス許可とその承認について説明します。

# Password Vault にこのアクセス許可が必要な理由

Web パーツは、Microsoft Graph を次の 3 つの操作に使用します。いずれも、サインインしているユーザーの OneDrive のアプリ フォルダー内での操作です。

- 保管庫ファイル *vitextra-password-vault.json* を検索する。
- ユーザーが初めて Password Vault を開いたときに、このファイルを作成する。
- このファイルを読み取り、変更のたびに保存する。

Password Vault は、これ以外の Microsoft Graph のアクセス許可を要求せず、SharePoint リストのアクセス許可も必要としません。ページを開くことができるユーザーであれば、誰でも自分の保管庫を使用できます。

# このアクセス許可で許可されることと許可されないこと

| 項目 | 詳細 |
| --- | --- |
| アクセス許可の種類 | **委任:** サインインしているユーザーに代わってのみ機能し、バックグラウンドで動作することも、ユーザーなしで動作することもありません |
| 許可されること | サインインしているユーザー自身の OneDrive のアプリ フォルダー内のファイルの読み取りと書き込み |
| 許可されないこと | ユーザーの他の OneDrive ファイル、他のユーザーの OneDrive、SharePoint サイト、メール、予定表、ディレクトリ |

| 項目 | 詳細 |
| --- | --- |
| | データの読み取りまたは変更 |
| アプリケーション (アプリのみ) アクセス | なし。Password Vault にはサービス アカウントもバックグラウンド プロセスもありません |

メモ

SharePoint Online では、SPFx ソリューションの API アクセス許可は、テナント内のすべての SPFx ソリューションが共有する 1 つの Microsoft Entra ID アプリケーション *SharePoint Online Web Client Extensibility* に付与されます。*Files.ReadWrite.AppFolder* が承認されると、このアクセス許可はテナントに展開されているすべての SPFx ソリューションで使用可能になり、アプリ フォルダーはこの共有アプリケーションのフォルダーになります。これは、すべてのベンダーに共通する SharePoint Framework の仕組みです。信頼できる SPFx ソリューションのみを展開してください。KB10360. SharePoint 管理センターで Vitextra ソリューションの Microsoft Graph API アクセス許可を承認する方法のセキュリティに関する注意事項を参照してください。

## アクセス許可を承認する方法

アクセス許可の要求は、Password Vault パッケージが**テナント**のアプリ カタログに展開されたときに作成されます (KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法を参照)。**SharePoint 管理者**または**グローバル管理者**のロールが必要です。

1. **SharePoint 管理センター**を開きます。

2. **詳細設定** > **API アクセス**に移動します。

3. **保留中の要求**タブで、*Microsoft Graph / Files.ReadWrite.AppFolder* に対する *Vitextra Password Vault* パッケージの要求を選択します。

4. **承認**をクリックし、確定します。

5. **承認済みの要求**タブにアクセス許可が表示されていることを確認します。

*Files.ReadWrite.AppFolder* が別の SPFx ソリューションのために既に承認されている場合、新しい要求は表示されません。SharePoint は既存の付与を再利用します。ユーザーに同意を求めるメッセージは表示されません。承認後、通常は数分以内に、テナント内のすべてのユーザーが Web パーツを使用できるようになります。使用できない場合は、ページを再読み込みしてください。

ヒント

スクリーンショット、PowerShell コマンド、一部のみの承認、アクセス許可の取り消し、更新時の動作については、KB10360. SharePoint 管理センターで Vitextra ソリューションの Microsoft Graph API アクセス許可を承認する方法を参照してください。

## アクセス許可が承認されるまでユーザーに表示される内容

要求が保留中のままでも、パッケージを展開し、Web パーツをページに追加することはできます。ただし、アクセス許可がないと、Web パーツは保管庫を読み取ることも作成することもできません。ユーザーには、**PINコードの設定** 画面や **PINコードの入力** プロンプトの代わりに、「申し訳ございません。問題が発生しました。ページを更新してやり直してください。」というメッセージと**更新**ボタンが表示されます。保管庫ファイルは作成されません。

承認後、ユーザーが**更新**を押すかページを再読み込みすると、Web パーツが通常どおり開きます。

承認済みのアクセス許可を後で**承認済みの要求**タブから削除した場合も、同じメッセージが表示されます。アクセス許可を削除しても保管庫ファイルは削除されません。ファイルはユーザーの OneDrive に残り、アクセス許可が承認されると再び開けるようになります。このメッセージのその他の原因については、KB10459. Password Vault が読み込まれない理由: 「問題が発生しました」とアクセス許可のエラーを参照してください。

## 関連記事

- KB10453. Password Vault がパスワードを保存する場所: OneDrive のアプリ フォルダー

- KB10452. Password Vault によるデータの保護: 暗号化、PIN コード、ストレージ
- KB10363. Vitextra 製品がデータを保存する場所: プライバシー、データ所在地、GDPR